



悠紀だより

甲府市立石田小学校
令和2年6月15日
Vol. 5
校長 雨宮秀樹

2週間の半日授業期間を経て、いよいよ先週から通常日課による学校再開となりました。

間隔を空けて手洗いをします。



現在学校では、新型コロナウイルス感染防止へのあらゆる対策を考え、リスクを避けるため様々な対応にあたっています。

登校班で並んでくるときは、前後の距離を取り、喋らずに登校しています。保護者の皆様による毎朝の旗振り指導の際も、「大きな声でのあいさつ運動」は目をつむって貰います。高学年・低学年玄関前では、それぞれ職員が非接触式の体温計を持ち体温を測り忘れてしまった児童の対応をしながら、玄関での混雑を避けるよう指示を出しています。教室に入る前にはアルコールで手指消毒をし、御家庭で協力いただいている健康チェック表も担任が

必ず確認しています。休み時間の校庭や図書室の利用は、曜日や時間帯によって学年を分けて使っています。給食も配膳時のリスクを避けるため、しばらく米飯がなくなり一人一人“個包装されたパン”となります。班のみんなと会話を楽しみながらの給食ではなく、全員前向きで喋らずに食事をとります。机の消毒、マスクを外すタイミング、お替わりするときに密集しない工夫、食後の歯磨きやうがいの仕方まで、一つ一つ確認しています。掃除についても、除菌効果のある洗剤を使ったり手袋を使用したりするなど配慮が必要です。もちろん、子どもたちが下校した後は、教職員による毎日の校舎内の消毒も欠かせません。



1年生の初めての給食です。献立は、ミルクパン・鶏肉のレモン煮・ミネストローネ・豆乳プリン・牛乳でした。



TVカメラで先生の映像・音声を隣りの教室へ送ります。2つの教室に分かれて授業をしています。

授業では、ペアやグループでの話し合いなど共同による学習はできません。そこで、音声による表現から文字による表現へとアウトプットの仕方を変えたり、友だちとの対話から個人内対話へ変え、自分の考えをより深く見つめ直したり（熟考）学んだことを振り返ったり（省察）するなど指導方法の工夫を行います。児童数の多いクラスは、教室より広いプレイルームを使って授

業をしたり、2つの活動場所に分かれて授業をしたりしています。また、本校には教職員の増員があるため、教科によって個別の支援ができるようチームティーチングで授業を進めるなど、きめ細かな指導体制も組んでいます。

現在、音楽の歌唱や口を付ける楽器の演奏、家庭科の調理実習やミシンなどの共有する用具器具の取り扱い、体育の接近密集した運動など、感染症対策を取った上でも指導を見合わせた方がよい学習内容があります。そのため、学習する学期を入れ替えて授業を進められるよう教育課程の再編成をするわけですが、総合や実技等によっては現時点ではできない内容がたくさんあります。また今後、感染症の第二波・第三波、学校閉鎖などの危機が来ないとも限りません。そこで、6・7月の一学期は、国語・算数・理科・社会・英語を中心にして今できる学習を進めていきます。3月の臨時休校に伴う前学年の未習内容も含めて、詰め込み教育ではなく、思考力・判断力・表現力の育成を目指した学びとなるよう展開してまいります。



熱中症対策のため、屋外で十分な間隔が確保できるときは、マスクを外して運動しています。

また、先日お知らせしましたとおり一学期は7/31（金）までとなりますが、今学期の通信表も普段とは異なった対応となります。6・7月では全ての学習が達成できない音楽・図画工作・家庭科・体育などの教科や総合的な学習の時間・外国語活動などの領域については、評定を出さずにお届けすることになります。これらの教科・領域等につきましては、二学期以降、十分な教育活動が可能になった場合に学習の様子をお伝えするよういたします。



演示実験の様子を、卓上カメラを使って大型TVに映し出します。教室の後ろからでもよくわかります。

学校が再開したとはいえ、新型コロナウイルス感染症対策により、以前と同じようにはできなくなっていることがたくさんあります。しかし、逆に今できることを考え・工夫し、豊かな学校生活が送れるよう進めていきたいと思えます。



※著作権の関係から、新聞社に許可を取り、授業で使った記事を掲載しています。



六月三日の山梨日日新聞に掲載された「ゴミ収集を行う作業員さんへ宛てられた感謝のメッセージ」は、本校の3年生佐野さんからの手紙です。遣り取りの様子はこの他にもあり、校長室で見せて貰いました。

コロナ対応で頭を痛める中、さすが悠紀の子！イッシーズの素敵なニュースに心が温かくなりました。